

2026年6月 市薬研修案内

会員各位

一般社団法人福岡市薬剤師会

下記のとおり、研修会を開催いたします。

☆研修会は事前申込み制です。詳細については、個別の案内状をご確認ください。

◇開催場所：

福岡市薬剤師会館 4F 講堂 福岡市中央区今泉 1-1-1 TEL：(092) 714-4416

開催日	研修会名	演題・講師など
6月2日 (火) 19時30分 ～ 21時00分	福岡市薬剤師会 学術研修会 《生涯学習委員会》	<p>《あらゆる領域に強くなろうシリーズ》</p> <p>【講演1】 演題：「薬薬連携について」 演者：福岡大学病院 薬剤部 井上 竜一 先生 要旨：免疫チェックポイント阻害薬や分子標的薬を含むがん薬物療法に共通する副作用マネジメントの基本的な考え方、主な有害事象の種類と特徴、早期発見のための患者観察の視点、用量調整・休薬・中止の判断、支持療法の活用について整理する。特に、軽微な症状の段階から副作用を疑い、院外薬局から速やかに医療機関への受診を促すための実践的なポイントを共有する。また福岡大学における薬薬連携の取組についても紹介する。</p> <p>【講演2】 演題：「尿路上皮癌薬物治療と副作用マネジメント」 演者：福岡大学病院 腎泌尿器外科 宮崎 健 先生 要旨：尿路上皮癌に対する最新の治療戦略について、化学療法、免疫療法、分子標的薬・抗体薬物複合体などを中心に解説する。各治療法の位置づけと治療選択のポイントに加え、骨髄抑制、腎機能障害、免疫関連有害事象、皮膚障害、末梢神経障害など、代表的な副作用の特徴とそのマネジメントを具体的な症例も交えながら紹介する。また、高齢者や併存疾患を有する患者における注意点や、フォロー体制についても言及する。</p> <p>【講演3】 演題：「腎癌薬物治療と副作用マネジメント」 演者：福岡大学筑紫病院 腎泌尿器外科 松崎 洋吏 先生 要旨：腎細胞がんの薬物療法を中心に、免疫チェックポイント阻害薬、チロシンキナーゼ阻害薬 (TKI)、その他の分子標的薬の位置づけと治療戦略を概説する。高血圧、蛋白尿、手足症候群、免疫関連有害事象など、腎がん治療薬に特徴的な副作用のマネジメントについて紹介する。特に最近承認となったウェリレグ錠について、患者の QOL を維持しながら長期にわたり治療を継続するための、実践的な対応方法を共有する。</p>
6月11日 (木) 19時30分 ～ 21時00分	福岡市薬剤師会 学術研修会 《生涯学習委員会》	<p>《東大・薬剤師会育薬セミナー》</p> <p>【ヒヤリ・ハット・ホット】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶患者が定期的に眼科に受診していたため、エプトール錠による視力障害の確認を怠ってしまった <p>【薬局プレアボイド解析ベーシック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶クレメジンカプセルが 600mg/日で処方された！ ～処方経験のない薬剤の場合、 1回 10カプセルも服用する薬剤の存在を認識していない場合がある～ <p>【症例から学ぼう副作用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶気にしておきたい副作用 - 抗てんかん薬② <p>【医薬品適正使用・育薬のホットな情報】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ CGRP 関連抗体薬の日本における長期有効性と継続率は？ <p>【ニュードラッグインフォメーション】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶極低出生体重児と人乳由来母乳強化剤：新薬の医薬品情報のポイント プリミーフォート経腸用液 6・8・CF <人乳由来母乳強化剤> <p>【クローズアップ DI】</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ドライアイと TRPV1 拮抗薬：効果・動態・適正使用のポイント アバレプト懸濁性点眼液 0.3% <モツギバトレブ> <p>講 師：東京大学大学院薬学系研究科育薬学講座 澤田 康文 先生／佐藤 宏樹 先生／三木 晶子 先生</p>

開催日	研修会名	演題・講師など
6月18日 (木) 19時30分 ～ 21時00分	福岡市薬剤師会 学術研修会 《生涯学習委員会》	<p>《あらゆる領域に強くなろうシリーズ》</p> <p>【特別講演】</p> <p>演題：「泌尿器科ロボット支援手術の現状と展望 ～排尿障害を交えて～」</p> <p>演者：国際医療福祉大学医学部教授、 高邦会福岡地区泌尿器科センター長 江藤 正俊 先生</p> <p>【要旨】前立腺癌に対するロボット支援手術をはじめとして、ロボット支援手術は泌尿器科領域で低侵襲外科治療として広く行われている。本講演の前段では最初に前立腺癌に対する腹腔鏡下前立腺全摘除術について概説し、それに続いてロボット支援手術への移行と保険収載による広がりについて述べ、最後はロボット支援手術を安全に行っていくために我々が取り組んでいる手術ナビゲーションシステムの開発について、腎臓癌に対するロボット支援手術を用いて紹介し、その将来展望についてもお話ししたい。</p> <p>後段では前立腺のレーザー蒸散術（PVP、CVP、ThuVAP など）を受けた後に残存した過活動膀胱（OAB）症状に対する、選択的β3アドレナリン受容体作動薬 ビバグロン（商品名：ベオーバ）の有効性と安全性についても紹介する。</p>
6月25日 (木) 19時30分 ～ 21時00分	福岡市薬剤師会 学術研修会 《生涯学習委員会》	<p>《東大・薬剤師会育薬セミナー》</p> <p>※詳細が分かり次第、配信・HP等でお知らせします。</p>

※各研修会のお申込み及び受講研修単位については、個別に配信しておりますご案内状にてご確認ください。

※受講料：福岡市薬剤師会A会員・B会員・薬学生は無料。

それ以外の方（非会員を含む）は、1人3000円の負担をお願いします。

※この研修会は氏名及び薬剤師免許番号を含む受講者名簿を「公益財団法人日本薬剤師研修センター」に報告させていただきます。また、氏名及び勤務先名を含む受講者名簿を共催団体へ提供する場合がございます。ご了承の上、お申込みください。

※研修単位は、申請状況・受講状況によっては単位が認められない場合がございます。

※福岡市薬剤師会で開催される研修会・説明会等の運営は、保険薬局会費により運営しております。

【お知らせ】

東大・育薬セミナーの会場受講にて交付しております「DLMセンター発行 育薬セミナー単位」について医薬品ライフタイムマネジメントセンターのDLM認定薬剤師制度の改変に伴い、

1.25単位（120分）から1単位（90分）へ変更となりました。

DLM認定薬剤師制度の詳細については、「NPO法人 医薬品ライフタイムマネジメントセンター」のホームページをご確認いただくか、お問合せ先にメール送信にてお尋ねください。

《NPO法人 医薬品ライフタイムマネジメントセンター》

ホームページ：<https://www.dlmc.jp/> お問合せ先：DLMセンター事務局（office-070401@dlmc.jp）